

# 想いは届く、願いは叶う



東金市立北中学校 校長室から 第6号 令和5年7月14日発行

## 1学期を振り返って～夏休みをどう過ごすか？～

1学期も残りわずかとなりました。

7月20日（木）には、終業式を行います。翌週に三者面談を控えているので、「面談が終わったら、夏休み」という意識かもしれません。

1年生にとっては、中学校に入学して初めての夏休みです。私の感覚では、小学校時代の夏休みは永遠に続くかのような錯覚がするくらい長かったのですが、中学生の夏休みはあっという間だったと記憶しています。皆さんにとっては、どのように感じるでしょうか？

2年生にとっては、この夏休みは大きな変化があります。多くの部活動は、総合体育大会が終わると、活動の中心が3年生から2年生に引き継がれます。これまで先輩に頼っていた部分もあるかもしれませんが、夏休みからは自分たちが引っ張っていかなければなりません。ここから、自分たちの代になるのだという自覚を持って活動しましょう。

3年生にとっては、中学校生活最後の夏休みです。部活動中心だった、これまでの夏休みから、自由な時間が増えることとなります。中学校卒業後の進路について、真剣に考えていかなければなりません。自分を見つめてください。自分は、何が得意か。将来、どのような職業に就きたいのか。自分ができることは、何なのか。長所も短所も含めてです。自分が短所と思っていることは、他人から見れば長所かもしれません。進路選択が、数ヶ月後に迫ってきています。そのための準備や情報収集の期間と考えてください。そして、苦手教科の克服には、夏休みは大きなチャンスです。「何もしないで、過ぎてしまった」ということにならないよう、計画を立てて進めてください。

「夏休みは、何かしようとするにはあまりに短く（充実している証拠）、何もしないと（無駄にしてしまうと）あまりに長い（取り返しがつかない）」・・・「夏休みをどう過ごすか」が、今後の人生の大きな分岐点となるかもしれません。

各学年で計画している補習も、積極的に活用しましょう。

1学期の終わりに当たって、ここで改めて1学期を振り返ると、学年のスタートであり、新しいクラス、新しい担任や教科担当、部活動顧問、そして級友との出会いがありました。

大きな行事もいくつかありました。体育祭、生徒総会、各学年の校外学習など、印象に残った行事があったかと思います。

体育祭と校外学習については、他でも触れているので、ここでは生徒総会のことを書きましょう。

「生徒全員が、生徒会の一員である」・・・これが大前提です。「生徒会」というと、生徒会本部役員や専門委員会の委員長のことを思い浮かべるかもしれませんが、確かに、生徒会活動の中心となって企画・運営しているのは役員ですが、活動は皆さん一人ひとりです。生徒全員が生徒会であり、1年に1回、今年度の基本方針や活動計画を決めるのが、生徒総会です。生徒総会では、発表する生徒、聴いている生徒の態度や姿勢が素晴らしく、感心しました。ここで出された質問や意見は貴重なものなので、大切に考えていきます。「生活のきまり」に関することは、今後も、評議会などで話し合いを続けていきます。「どのようにしていけば、誰もが安心して学習や諸活動に集中できるのか」という視点から、「きまり」を改めて検討していきたいと思えます。

また、「今の学校生活をもっと良くしていくために、私は委員会で（クラスで、部活動で）このような活動をしたい」というアイデアが生徒の皆さんから、たくさん出てくるといいと思います。委員会や評議会の場で、提案してください。

自分で「気づき、考え、行動する」・・・これが、生徒の皆さんの目標です。今後も高い意識を持って、自分たちの学校をより良いものにしていきましょう。